

令和3年度 各派代表者会議 会議概要

日 時	令和3年6月7日(月) 9:30 ~ 10:15
場 所	議会応接室
出席者	<p>【議員】 上地安之 議長、平良眞一 副議長、桃原朗 議員（絆クラブ）、 知名康司 議員（絆輝クラブ）、岸本一徳 議員（公明党）、 知念秀明 議員（共生の会）、伊佐哲雄 議員（結・市民ネットワーク）、 米須清正 議員（和みクラブ）</p> <p>【説明者】 多和田眞満（総務部次長）、嶺井辰也（建設部参事）、 譜久原朝亮（総務課管財係長）、山城啓（建築課指導係長）</p> <p>【議会事務局】 東川上芳光（議会事務局長）、仲村厚子（庶務課長）、 國頭由紀子（庶務係長）、平田駒子（議事係長）</p>
協議事項	<p>①天井の一部崩落による本会議場の変更について</p> <p>②その他</p>
会議概要	<p>①天井の一部崩落による本会議場の変更について</p> <p>・議長説明 6月3日に本会議場の天井コンクリートが剥離し吊り下げ天井を突き破り、議員席に落下する事故が発生し、6月定例会の本会議場の安全が確保されない状況となった。そのため、場所を変更し開催することについて、全議員へ説明し場所の変更について理解と協力をいただくため全員協議会を開催する必要があり、各会派代表者に集まっていた。本会議の状況について職員より説明させたい。</p> <p>・総務部次長説明 配布した文書のとおり、6月3日に本会議場内コンクリート片が剥がれ落ちている報告を受け、天井の状況を職員が確認したところ、いくつかの箇所でコンクリートが浮いている状況で可能なものは処置したが、専門業者にて処置をするまでは本会議場の使用を停止するよう申し入れを行うものである。 また、議場入り口の待合いのスペースも状態が悪く、立入禁止としている。3階フロアのその他の場所は問題ないことを確認した。</p> <p>・管財係長説明 6月4日に専門業者と共に天井懐を確認した。今後安全を確保するための作業を進めて一日も早く議場が機能できるように進めてまいりたいが、今のところ、具体的な日数は調査を踏まえ確定した段階で報告いたしたい。</p> <p>(質疑応答) ○桃原議員 昨年、議場内照明をLEDに変える際に、確認しておけばよかったと思うが、業者とのやりとりはなかったのか。</p>

○指導係長 昨年庁舎耐震工事の際にLEDへの照明の変更を行った。作業内容は、足場を組んで下から器具を取り換えるのがメインだったため、天井内部の状況は報告を受けておらず、細かい調査も行っていない。

○桃原議員 40年も経過した建物で、そのために耐震改修工事も行っているわけであり、天井裏に入らなかったということは、配慮が欠けていたと考える。今後は、他の箇所もある程度点検し人災が起こらないように対策をすべきと思うがいかがか。

○建設部参事 昨年の作業の際に、雨漏りの跡などについて劣化の報告がなかったことと、職員も現場の状況を見落としており申し訳なく思います。

○桃原議員 雨漏りがあると鉄筋が腐食することが念頭にあれば、確認が必要と気づく。その辺のチェックがおろそかであったと考える。今回は人への被害がなく不幸中の幸いであった。今後は、改修等の際は必ず点検することを心掛けていただきたい。

○副議長 危険な状況となっている場所は、本会議場、議場への入り口、その反対側入り口、第3常任委員会室でよいか。

○管財係長 4日土曜日に点検口から確認し、第3常任委員会室から議場に繋がっているスペースは危険であったため、今回立ち入り規制とした。その他の箇所は目視の範囲できれいであった。第3常任委員会室は、見えにくい箇所があったため、これから確認したい。

○副議長 修繕の期間はどのくらいか。

○建設部参事 現地調査が未実施で、業者とも修繕方法等の調整を行っていない状況である。補修が天井の一部なのか、全体なのか、天井内のコンクリートの状況も確認した上で補修方法を定め、工事の期間が捻出される。はっきりとは申し上げられないが、1か月以上はかかる想定している。

○副議長 長くかかったとしても、9月議会からは使えると考えてよいか。

○建設部参事 なるべく、9月議会からは使用できるようにしたいが、人命に関わるため慎重に考えていきたい。

○副議長 いつごろまでに、工期が決まりそうか。

○指導係長 躯体、天井の釣りボルト、ボードの状況等、調査項目が多々あり、設計を入れるか等も調整の上、判断してまいりたい。

○知念議員 照明をLEDに変えていただき、議場も明るくなったが、「骨」を調査・確認するのが先だったのではないかと思う。工事は、天井も剥がして行うのか。

○建設部参事 天井は防水されているため、上からの雨漏りはほぼ止まっている。コンクリート剥離している部分は全部落とし、剥落しているところは、鉄筋が腐食しないよう処置をしていく。天井の劣化がひどい部分は範囲の特定及び、議場という特殊な用途による内装制限等も含め検討しながら、どういう処置をするのか建築課として検討し業者に指示等を行ってまいりたい。

○伊佐議員 屋上は防水処理されているのに水が入ってきているのか。

○建設部参事 屋根の外気に面している部分は防水を行ったため水の侵入はない。鉄筋の腐食、サビ、については、酸化であるため、下からの酸素と水をどう絶っていくか検討する。

○伊佐議員 今回の鉄筋が腐食した原因は何か。

○建設部参事 下からによるものはゼロではないが、上からの雨漏りもあり、ひび割れがあちこちあり、そこから空気、水が入り、鉄筋が腐食したと見られる。

- 伊佐議員 防水処理がきちんとされていなかったのか。
- 建設部参事 建築当初、約40年前のことであり、コンクリートの劣化、防水処理層の劣化が進んでいたと思われる。
- 伊佐議員 今は厚めの防水シート等を貼ると思われるが、それを行ったのか。
- 指導係長 既存の防水シートが劣化し、切れていたため、今回、耐震改修工事の際に、不織布を貼った上にウレタンを貼り、現時点の雨水対策は行っているため、今度は内部からの対策が必要と考える。
- 伊佐議員 約40年前の建築ということで、コンクリートの質はどうか。
- 建設部参事 耐震改修工事については、地震に対し建物が崩壊しないことを目指して行った。梁、柱は、補強された。コンクリートは健全だという判断である。
- 伊佐議員 今回は、人命に関わるとんでもない話である。庁舎全体に対し、市民からも不安の声もある。時間をかけてしっかり対策してほしい。
- 岸本議員 昨年度の耐震化の工事で、点検は行わなかったのか。
- 指導係長 基本実施設計に入る前に、長寿命化、健全化を図る計画を総務課の方で行っており、その報告を受けて、建築課で優先順位を付けて、改修項目を決定していった。基本計画の際に天井裏等の内容がなく、まずは躯体、大きいフレームでどう耐震化を図るかというところで設計を進めていた。改修に係る部分は、天井裏を開けて入れるところは見ているが議場については、項目がLED照明の部分だけであったため、見落としている。
- 岸本議員 全国的にトンネルや橋も長寿命化ということで点検しているが、走行中に崩落してきたという事故もあった。本来は耐震化の工事を行う前に点検するべきであった。耐震化の工事に関して、今回の件は補償などあるのか。新たな予算になるのか。
- 管財係長 公共施設は建物の共済保険に加入しているが、通常、災害等が対象であり、老朽化は非対象と思われる。市としては財源を確保して修繕を行っていくことになると考えている。
- 知名議員 庁舎内で他にも、このようなことはあったのか。
- 管財係長 4日に点検した中では、第3常任委員会室から議場へ通じる場所では、コンクリートが落ちている状況があった。業者からは、今はボードで受け止められる範囲であるという説明があった。外回廊の梁や手すりは、事前に調査を入れて耐震改修工事の中に入れて修繕した。安全をしっかり確保できるよう、対象範囲を調べ改修していきたい。
- 知名議員 今回の議場の件は、次に他の場所でも起こる可能性があるため、しっかりと点検していただきたい。
- 知念議員 市民会館、中央公民館は点検を終わっているのか。
- 指導係長 教育委員会の所管ではあるが、中央公民館は天井が貼られているわけでないで、直接落ちてくることは考えにくい。
- 議長 質疑が尽きたようですので、説明及び質疑は以上としたい。

(説明員退室)

・議員全員へ現在の議場の状況説明及び質疑応答を行うとともに、10日からの6月定例会を中央公民で行う案について諮るため、全員協議会を開催することについて議長より提案され、全会一致で提案のとおり決定した。

- ・全員協議会へ提示する「本会議場の変更に係る運営方法について」を予め共有し、そのとおり提示することが承認された。

②その他

議長より会派異動に伴う特別委員会等の構成について協議結果の報告を行った。

- ・「結・市民ネットワーク」会派が屋良千枝美議員の異動により4人となった。それに伴い会派人数が同数(4人)である「絆クラブ」「絆輝クラブ」の3つの会派間で協議を行うことが代表者会議で決まっていたが、協議の結果、まとまらず、残り1年の任期は現在の人数構成とすることとなった。
- ・福祉教育常任委員について「結・市民ネットワーク」所属の2名のうち、1人を総務常任委員会へ所属変更したい旨の希望があり、議会事務局検討の上、総務常任委員会の定数10名の範囲内で収まるため、正式に届があればそのように進めることとなる。